

第5章 日本の近代化と国際社会

学習を始めよう ～近代の暮らしと社会～

教科書 p.146～147

Q1 絵「明治時代の新橋の様子」の中で江戸時代と違っているところはどこでしょうか。また、なぜそのように変化したのでしょうか。

●「明治時代の新橋の様子」の中で江戸時代と違っているところを書き出そう。

洋服を着ている人がいる。

れんが造りの建物がある。街灯がある。

人力車が走っている。

蒸気機関車が走っている。

など

●町の様子は、なぜそのように変化したのか考えてみよう。

鎖国をやめて、外国から技術や文化が入ってきたから。

西洋の国々に追いつくために、人々が外国のまねをしたから。

など

Q2 絵「式典の様子」と「1871年に開業した工場」は、それぞれ何をしているところでしょうか。

●「式典の様子」は、何の式典を描いているのだろうか。

右側の、高いところに立っている人はだれだろう。その他、気づいたことを書いてみよう。

一段高いところに立っているのは、明治天皇ではないだろうか。

おじぎをしている人が紙を受け取っている。天皇から人々に向けた文書だろうか。

軍服のような洋服の人がたくさんいる。ドレスを着た女性もいる。

など

● 「1871年に開業した工場」では、何を作っているのだろう。

どのような人々が働いているだろう。その他、気づいたことを書いてみよう。

同じような機械がたくさん並んでいる。

工場の中では、糸をつむいでいる。

働いているのは、着物の女性ばかりである。

など

Q3 これまで学習してきた時代と比べて、近代にはどのような変化が起きたのか予想してみましよう。

西洋の文化が入ってきて、服装や建物が大きく変化した。

技術や生活様式が外国から取り入れられて、人々の生活の仕方が変化した。

政治のしくみも西洋をまねるようになった。現代のように、武士や幕府^{ばくふ}だけではなく、すべての人々が政治に参加できるようになった。

など

→人々の暮らしの変化については教科書 p. 173～174 で、

新しい政治のしくみについては教科書 p. 181～182 で、くわしく学習するよ。